

超音波フォーラム 報告

本年度 4 月に開設した「超音波検査教育・研究センター」の開所を記念して、9月3日(土)に「超音波フォーラム」を開催しました。

本センターは、関キャンパスの保健科学部内に設置し、臨床検査学科と放射線技術学科の学生と教員がお互いの職業領域を超えて、超音波検査を学ぶ機会をより多く持ちたいということで、開設しておりました。

山岡一清学長の挨拶の後に、西出裕子センター長の基調講演や特別講演を行いました。さらに、「プロフェッショナルの流儀」「大学に求められる超音波教育」のテーマで、臨床検査技師や診療放射線技師として活躍されている医療現場の先生方に、それぞれの領域を中心に講演を頂きました。

休日にもかかわらず、医療関係の先生方(臨床検査技師 10 名、診療放射線技師 32 名、メーカ 4 名)計 46 名に参加いただきました。また、臨床検査学科と放射線技術学科の 4 年生 132 名が本フォーラムに参加して、情報の交換を行うことができました。



フォーラムの最後に、本学同窓会会長の睦元将吾先生にもお言葉を頂きました。
超音波検査をテーマに大変有意義なフォーラムでありました。 学部長 石黒啓司